

# 特別委員会調査報告

平成31年 2月20日

薩摩川内市議会

川内原子力発電所対策調査特別委員会

委員長 川添 公貴

## 1 委員会の開催日

1月24日（委員会）及び2月9日（原子力防災訓練視察）

## 2 川内原子力発電所の安全対策に関する調査

### (1) 川内原子力発電所の運転状況について

当局から、1号機及び2号機はそれぞれ通常運転中であり、気体・液体廃棄物の放出量は年間放出管理目標値を下回っていること、固体廃棄物の貯蔵率は69.9%であること、使用済燃料の貯蔵率は66.2%であること、新燃料は196体を貯蔵していること、法に基づき国へ報告を要する事象等は該当がないことについて報告があった。

### (2) 平成30年度鹿児島県原子力防災訓練について

ア 1月24日、当局から、2月9日に実施する原子力防災訓練について報告があった。今回は、地震発生時の初動期から訓練を開始すること、隈之城、永利、倉野及び山田の各地区においては全面緊急事態を受けてUPZ内住民の屋内退避訓練を、水引保育園においては園児を保護者へ引き渡すことができず避難先に避難する訓練をそれぞれ行う予定であることなど、昨年度の訓練から変更がある項目について説明を受けた。

なお、調査の過程において、実効性のある避難計画とするためにも、原子力防災訓練に対して、市民が等しく防災意識を持って臨むよう啓発に努められたい旨の意見が述べられた。

イ 2月9日、原子力防災訓練を視察し、川内原子力発電所における通報連絡訓練、鹿児島県原子力防災センター及び本市総合防災センターにおける緊急事態時の災害対策本部等運営訓練、倉野地区における避難所での屋内退避訓練等について確認した。